

Brahms

交響曲第1番 ハ短調

J. Brahms / Symphonie Nr.1 c-moll, op.68

Mendelssohn

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調

F. Mendelssohn / Violinkonzert e-moll, op.64

Schubert

歌劇「アルフォンソとエストレッラ」序曲

F. Schubert / Alfonso und Estrella, D.732: Ouvertüre

ヨハネス・ Brahms・フィルハーモニカー 第10回演奏会

JOHANNES
BRAHMS
PHILHARMONIKER
10.KONZERT

2017年2月12日(日)

19:00開場 19:30開演

開演前にロビーコンサートを実施いたします。

渋谷区文化総合センター大和田
さくらホール

全席自由 1,500円
未就学児のご入場はご遠慮ください。

指揮：福田 光太郎
ヴァイオリン：会田 莉凡

 <http://jbphil.com>  JBPhilharmoniker

 [@jbphil.jp](mailto:info@jbphil.com)

後援：日本ブラームス協会

ヴァイオリン:会田 莉凡 / AIDA, RIBON



桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース在籍中の2012年に第81回日本音楽コンクールバイオリン部門で第1位(併せて全部門の中で最も印象的だった演奏・作品に贈られる増沢賞、レウカデイア賞、黒柳賞、鶴見賞)受賞を機に、ソリスト、室内楽奏者、コンサートマスターと多方面で活躍し注目を集めている。

2010年第6回ルーマニア国際音楽コンクール第1位、併せて全部門最優秀グランプリを受賞。2014年第3回秋吉台音楽コンクール室内楽部門第1位。

これまでにルーマニア国立ラジオオーケストラ、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、群馬交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪交響楽団など日本各地のオーケストラと共に演奏を重ねる。

また東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭に参加、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団に最年少で参加。

2010年より小澤国際室内楽アカデミー奥志賀に毎年参加し、弦楽合奏では小澤征爾氏指揮のもと、ソリストやコンサートマスターを務める。

また客演コンサートマスターとして、群馬響、神奈川フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、九州響などから招かれる。

NHK-Eテレ「ららら♪クラシック」、NHK-BS「クラシック俱乐部」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」などに出演。

これまでに岩澤麻子、鶴見健彰の各氏に、現在、徳永二男氏に師事。室内楽を小澤征爾、原田禎夫、川本嘉子、川崎洋介の各氏に師事。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学ソリスト・ディプロマコース修了。

Johannes Brahms Philharmoniker (ヨハネス・ブラームス・フィルハーモニカー、通称JBP) は指揮者・福田光太郎によるTwitterでの呼びかけで開催された、ブラームス・ピアノ協奏曲第1番の試演会に参加したメンバーをもとに結成されたオーケストラです。

実力ある若手ソリストとの共演、試演会に集った音大卒プレイヤーのオーケストラへの参加、本公演前の試演会の開催を特色としています。

結成のきっかけとなったブラームスの作品を中心に様々な作曲家の作品を取り上げます。

指揮:福田 光太郎 / FUKUTA, KOTARO



東京芸術大学卒業。東京音楽大学大学院およびウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学にて指揮を専攻。佐渡裕、加納明洋、沙澤安彦、広上淳一、曾我大介、ゲオルク・マルク、トマス・ドス各氏に師事。また下野竜也、アントレス・オロスコ=エストラーダ、ヨルマ・バヌラ各氏のマスタークラスを受講。すべてのマスタークラスにおいて成績優秀者によるコンサートの指揮者に選ばれる。

芸大在学中より指揮活動を始め、市民オペラ団体などで副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。2004年にはフジテレビ主催、ニューヨーク・シティ・オペラ共同制作による「世界平和祈念コンサート」の合唱指揮を務めた。東京芸術大学大学院生を中心とした「ギフト・ミュージックカンパニー」や東京国際芸術協会(TIAA)のオペラ公演、ガラコンサートの指揮、また現代作品でも国際芸術連盟(JILA)会長、服部和彦氏の作曲個展の指揮者として招かれるなど、多方面で活動している。

これまでにルガニスク・フィルハーモニー管弦楽団、ルセ・フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など国内外のオーケストラを指揮。平成26年度北日本新聞芸術選奨受賞。

